

# JASMA 会報

2026年1月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

## CONTENTS

1. 新年のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 年頭所感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3. 2026年新年賀詞交歓会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4. 第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品決定・・・・・・・・・・4
5. 国際アパレル&ノンアパレル生産技術見本市（JIAM 2028 OSAKA）会期決定・・・・・・・・・・5

### 1. 新年のご挨拶

一般社団法人日本縫製機械工業会  
会長 美馬 成望



明けましておめでとうございます。

2026年の年頭を迎え、皆様には希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の我が国の経済は、年初には個人消費の弱さや外需の縮小で一時的にマイナス成長となりましたが、緩やかな回復基調にありました。企業においては、人手不足対応やDX、GX、サプライチェーン強靱化に向けた構造的な投資意欲が根強く、設備投資は、拡大基調を維持しましたが、輸出については、米国経済の減速や高関税の影響で、下押し圧力がかかりました。個人消費については、春闘で高い賃上げ率が続いたため、実質賃金は秋以降にプラスに転じ、物価高騰への懸念は依然として消費者マインドを下押ししていますが、「節約とメリハリ消費」が定着しており、底堅く推移しました。海外経済については、米国による関税政策の不透明性や保護主義の拡大、地政学リスクなどから、下振れリスクが継続しています。

本年の我が国経済の先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意する必要があります。加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっています。海外経済の先行きについては、アジア地域では、景気が回復又は持ち直す傾向にある国が見られる一方、中国では、景気は足踏み状態となっており、引き続き各種政策の効果が期待されるものの、不動産市場の停滞による影響もあり足踏み状態が続くと見込まれています。また、今後の通商問題の動向や物価下落の継続による影響等に留意する必要があります。米国では、景気の緩やかな拡大基調に変化は見られず、欧州においても緩やかに持ち直していくことが期待されますが、やはり米国の政策動向による影響に留意する必要があります。

縫製機械業界においては、近年のニーズである省力化、脱技能化及び人手不足を日本メーカーの技術革新による自動化、効率化で解決することが極めて重要だと考えております。

2026年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。「丙（ひのえ）」は燃え盛る太陽、「午（うま）」は夏の盛りを表し、どちらも火の性質を持つため、「情熱的で強い意志を持ちながらも、激しさや変化を伴う年」の意味があるそうです。私共も情熱的で強い意志を持って研究、開発にあたり、ユーザー企業様の発展に資するための努力を重ねてまいります。

このような状況の中、当工業会の大きな取り組みとして、**JIAM 2028 OSAKA** がございます。1984年の第1回以来、「日本の縫製関連機器メーカーが、これまでにない最新機器及びソリューションを国内外に示し、国内外のユーザーニーズに応える」を一貫したコンセプトとして開催してきました。**JIAM 2028 OSAKA** もこのコンセプトの下、開催いたし

ます。引き続き、縫製機械業界、アパレル・ノンアパレル、産業資材関連及び関係官公庁・団体の皆様方からのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

家庭用ミシンを使った『ものづくり』の普及促進に関しましては、今回で46回を数える、ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールを実施しております。家庭科教育として作品作りに取り組んでいただき、今回は応募校数259校、応募作品数1,782点となりました。いずれも素晴らしい出来栄への力作やアイデア溢れる個性的な作品です。関係された先生方、学校関係者、ご賛同いただいた皆様方のご協力に深く感謝申し上げます。

表彰式は、来る3月25日（水）、東京国際フォーラムにおいて開催いたしますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。私共といたしましては、今後も本コンクールが、自らものを作る楽しみを経験することにより、ミシンを通じた我が国の『ものづくり』文化のすそ野拡大や将来のアパレル・ファッション・繊維産業を担う人材の育成に寄与していくものと期待しております。

本年も会員企業間のコミュニケーションの更なる充実を図り、経済産業省様を始め、関係諸団体との連携を密にし、当工業会事業の着実な運営と縫製機械業界及び関連業界の一層の発展に向けて努力してまいります。

2026年が、災害などのない穏やかな一年となりますことを祈念するとともに、皆様方のご健勝と益々のご活躍、ご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

## 2. 年頭所感

経済産業省 製造産業局 産業機械課  
課長 須賀 千鶴



令和8年の新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は、岩手県大船渡市で発生した林野火災や度重なる豪雨・台風、青森県東方沖を震源とする地震をはじめとして、多くの自然災害が発生した一年でした。被災されたすべての皆様にお見舞いを申し上げます。

世界では、米国の関税措置や、米中欧をはじめ各国による自国優先の大規模産業政策の展開など、自由主義経済に代わる新たな国際秩序が生まれようとしています。国内に目を向けると、賃上げや国内投資が約30年ぶりの高水準となり、名目GDPも600兆円の大台を超えるなど、日本経済に明るい兆しが現れています。

他方で、我が国は人口減少や少子高齢化という構造的要因に直面しております。労働力人口の縮小は、生産能力の低下を通じて供給面に制約をもたらします。加えて、世界的な資源価格の変動など、外部要因も重なり、インフレ圧力が高まる懸念があります。

こうした状況の中では、官民の投資により、日本経済の供給力を高めることが、需要と供給のバランスや物価の安定に繋がっていきます。米国の関税措置などの国際秩序の変化に対応しつつ、現下のマクロ経済環境認識を踏まえて、高市内閣が目指す「強い経済」を実現していくために、供給力の強化や輸出拡大も含めた経済産業政策、成長戦略の重要性がますます高まっています。

物価高を乗り越えて「強い経済」を実現するためには、物価上昇を上回る賃上げを実現しなければなりません。中小企業・小規模事業者が、最低賃金の引上げへの対応を含む賃上げの原資を確保できるよう、従来から、価格転嫁対策・取引適正化やデジタル化・省力化による生産性向上、事業承継・M&A等による事業再編を支援してまいりました。今般成立した令和7年度補正予算も活用し、こうした取組をさらに力強く支援していくことにより、労働供給制約社会において、「稼ぐ力」を高め「強い中小企業・小規模事業者」を目指して経営を行っている中小企業・小規模事業者を全力で応援してまいります。

価格転嫁対策については、中小企業等が事業の正当な対価を得て投資や賃上げの原資を確保するために、官公需も含めた取引適正化を徹底します。特に、1月1日に施行された中小受託取引適正化法（取適法）に基づき、新たに規制対象とされた、協議に応じない一方的な代金決定の禁止等を徹底するとともに、受託中小企業振興法（振興法）に基づき、サプライチェーンにおける多段階の事業者が連携する取組を支援してまいります。

「危機管理投資・成長投資」による強い経済を実現するため、AI・半導体や量子、バイオ、航空・宇宙、エネルギー・GXなど戦略分野を中心に、大胆な設備投資や研究開発の促進など、総合的な支援措置策を早急に検討し、官民の積極的な投資を引き出します。

ロボットとAIを組み合わせた「AIロボティクス」の普及により、ロボットの活用範囲が拡大し、日本が強みを持つ製造業や、高齢化・災害など日本が抱える社会課題の解決に活用されることが期待されています。政府としてもAIロボティクスの戦略を策定し、供給体制の強化と需要創出を戦略的に進めてまいります。

また、製造業のDXの実現に向けて、製造現場のデータ整備と製造プラットフォームの開発支援を担う「製造DX拠点」を構築する構想についても、検討を進めてまいります。

米国の関税措置については、昨年の日米間の合意等も踏まえ、引き続き、産業に与える影響の把握と緩和に取り組みます。

経済安全保障の観点では、レアアースや半導体等の重要な物資について、特定の国に過度に依存することのない強靱なサプライチェーンを構築することが重要です。官民が一体となった国内生産力の強化や供給源の多角化、国家備蓄の強化等を強力に進めます。

大阪・関西万博は2,900万人を超える来場者をお迎えし、成功裏に閉幕することができました。また、様々なビジネス交流も生まれ、「未来社会の実験場」というコンセプトどおり、モビリティ、GX、デジタルをはじめ、多様な分野で最先端の技術実証が展開されました。産業界の皆様におかれましては、多大なる御支援を賜り、深く感謝申し上げます。一連の成果を整理し、「レガシー」としてどのように継承していくか、検討を進めてまいります。

最後に、本年が皆様方にとって実りの多い一年となりますよう祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

### 3. 2026年新年賀詞交歓会開催

当工業会の2026年新年賀詞交歓会は、1月21日(水)13時30分から日本工業倶楽部3階大ホールにおいて開催しました。経済産業省をはじめ関係団体、報道関係、当工業会関係者を含め81名のご出席を頂きました。

はじめに、当工業会の美馬会長から挨拶があり、主要事業についての説明と国内外の経済状況並びに大阪関西万博の成功について話されました。

続いて、ご来賓代表として経済産業省 製造産業局 産業機械課 須賀千鶴課長から、産業界の状況や課題、経済産業省の取り組みについてご挨拶があり、ました。その後、兒島副会長から **JIAM 2028 OSAKA** の会期とテーマが発表され、乾杯発声後、和やかな歓談の場となりました。

最後に廣瀬副会長による中締め挨拶があり盛況のうちに終了しました。



美馬 成望 会長



須賀 千鶴 産業機械課



兒島 成俊 副会長



廣瀬 恭子 副会長

#### 4. 第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品決定

全国の小学生、中学生、高校生を対象に実施した第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールは、応募校数259校（前年324校）、応募点数1,782点（前年1,925点）でした。厳正な審査の結果、入選作品などが右のとおり選ばれました。

入選作品表彰式は、2026年3月25日（水）、15時より東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内）において執り行う予定です。

なお、入選作品等の詳細につきましては、後日、会員及び報道機関に向けてお知らせします。

1. 作品賞
  - 最優秀賞 5点
  - 優秀賞 26点
  - アイデア賞 3点
  - 佳作賞 34点
  - 努力賞 164点
  - 全国ミシン商工業協同組合連合会技術賞 1点
  - SDGs 特別賞 1点
  - ミシンダイアリー部門特別賞 1点
2. ホームソーイング振興最優秀校賞  
小学校、中学校、高等学校 各1校（計3校）

#### 5. 国際アパレル&ノンアパレル生産技術見本市（JIAM 2028 OSAKA）会期決定

2028年に開催予定のJIAM 2028 OSAKAについて、会期等が以下のとおり決まりました。

会期：2028年5月24日（水）～26日（金）の3日間

会場：インテックス大阪

テーマ：「精密に、誠実に、サステナブルな価値を、JIAMから」

（英文）「Precision with Integrity – Designing a Sustainable Future at JIAM」

#### 編集後記

澄んだ冬空に気持ちがあらたまる季節、皆さまには健やかな新春を迎えられたことと存じます。そんな中、相変わらずグローバル市況は読みづらい状況が続いておりますが、一方では工場DXやスマートファクトリーのニーズが世界的に加速しており、国内でもデータ活用や設備投資を後押しする支援策が引き続き整えられています。縫製工場ではミシンや設備の“動き”をデータ化して活かすフィジカルAI、技術幕開けの年になりそうです。子供のころ見たアトムやドラえもんお仕事をするのも近い将来かもしれません。ちょっとワクワクしてきました。そんな明るい期待とともに、本年もどうぞよろしくお願ひします。（K.M）



## JASMA 会報

Vol.22 No.4 2026年2月3日

一般社団法人日本縫製機械工業会

発行責任者：内藤 智

〒105-0004

東京都港区新橋5-25-3 第2一松ビル2階

Tel. 03-6435-8190 Fax. 03-6435-8192

URL <https://jasma.or.jp>

e-mail [info@jasma.or.jp](mailto:info@jasma.or.jp)

本JASMA会報は、発行後、当工業会ホームページに掲載しております。